

兵庫県フロン回収・処理推進協議会 平成 20 年度第 2 回企画委員会

と き 平成 20 年 8 月 12 日 (火) 10:30 ~ 12:00

ところ 兵庫県民会館 11 階 1101 会議室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事

(1) 平成 20 年度通常総会の開催結果について

事務局より内容説明。以下質疑応答。

〔意見・質疑〕

(委員)

規約が一部改正され、事業内容に災害等緊急時におけるフロン回収・処理に係る協力・支援が追加されたが、具体的な協力支援の範囲・内容が決まっていない。県内で災害が起こった場合のみか、県外でも災害が起こったら支援するのか。その辺りについて決めておかなければならないと思う。

(事務局)

検討する。

(2) 平成 20 年度事業について

〔普及啓発関係〕

普及啓発用パンフレット等の作成・配布について

事務局より内容説明。以下質疑応答。

〔意見・質疑〕

(委員)

- ・ パンフレット等作成・配布の予算は 100 万円程度だが、これだけの金額で十分に周知が出来るのか。
- ・ 一般県民向けのパンフレットは、ノンフロンを中心にまとめたら良いと思う。別添カラー資料から抜粋し、ひと目見て飛びつくようなパンフレットにして欲しい。
- ・ パンフレットの配布については、県消連の会員は約 10 万人いるので配布の手伝いはできる。
- ・ パンフレットは、冷蔵庫を売っている量販店等現場に置いてもらうべきである。また、ノンフロン冷蔵庫の情報等現物はどんなものかが分かりにくいので、パンフレットに載せたら宣伝にもなり有効だと思う。
- ・ 冷蔵庫等の家電製品について、最近は『省エネ家電』という言葉をよく耳にするが、『ノンフロン』という言葉は耳にしない。行政は縦割りだと思うが、横の連携をとって、省エネ家電を推進している部署と一緒に『省エネ・ノンフロン』を推進していくべきである。
- ・ パンフレットの中身を読んでもらおうと思えば、町内会の回覧板を利用するのが良いと思う。回覧板なら、10~20 軒につきパンフレット 1 部で良く効率的である。

(事務局)

- ・ 昨年改正したパンフレットの費用は、70 万円程度で約 1 万部作成出来た。部数が多いほど割安になるので、そこそこの部数が刷れると考えている。
- ・ パンフレットの配布について、ぜひご協力いただきたい。

フロン対策(オゾン層保護・地球温暖化防止)フォーラムの開催について

事務局より内容説明。以下質疑応答。

〔意見・質疑〕

(委員)

- ・ 資料の参集範囲にある大気環境保全連絡協議会とはどのような団体なのか。
- ・ 講師は、一般県民がチラシを見て行きたいと思うような人を呼んでほしい。講師料は高くなってしまおうと思うが、参集範囲も広がっているし、それなりの人を呼んで欲しい。
- ・ 県消連の常任理事会までにフォーラムの日が決まれば、会員に呼びかけておく。50 人は確実に集められる。
- ・ 空調業界は、9 月は忙しくてフォーラムの参加は難しいと思う。
- ・ 日程は、休み明け・月末を除いたら第一候補日は 9 月 26 日(金)になると思う。ただ、講師の都合もあると思う。
- ・ フォーラムの開催案内の方法を改めるべきである。一般県民を呼ぶには、記者発表を行い、新聞に掲載したら 40~50 人は集まると思う。記者発表等有効に使うべきである。

(事務局)

- ・ 兵庫県大気環境保全連絡協議会は、ばい煙関係の工場・事業者を中心にした団体。会長は知事。事務局は大気課にある。講師を 2 名呼ぶので協賛とすれば費用も抑えられる。
 - ・ 講師については、事務局案どおりとし早急に段取りをしていく。
- 広報誌トライアングルの発行について

事務局より内容説明。以下質疑応答。

〔意見・質疑〕

(委員)

- ・ 年2回(9月・3月)発行とのことだが、9月発行分に関してスケジュールを教えてください。

(事務局)

- ・ 10月始めには会員の手元へ届くようにしたいので、9月半ばまでに原稿がそろえば大丈夫。

県及びその他の関係機関が実施する環境保全のための事業等への参画について

事務局より内容説明。以下質疑応答。

〔意見・質疑〕

(委員)

- ・ ひょうごエコフェスティバル2008ではパンフレットを配るのか。
- ・ パンフレットよりも、うちわやティッシュにして配った方が読んでもらいやすいと思う。季節を考えるとティッシュ(小さい箱型)がたくさん書けて良いかもしれない。

(事務局)

- ・ パンフレットは11月9日のエコフェスに間に合うように調整し、配布予定である。

〔会員支援〕

フロン回収・処理技術講習会の開催について

事務局より内容説明。以下質疑応答。

〔意見・質疑〕

(委員)

- ・ 関係業界へも交渉しており、前向きに進めている。(兵冷工)
- ・ 第二種フロンの技術講習会については、自り法が確立されているため必要性があまりない。

フロン回収行程管理票配付(無償)事業の実施について

事務局より内容説明。以下質疑応答。

〔意見・質疑〕

(委員)

- ・ このような制度を実施するのなら、責任をもって立入をし、罰則をしなければならない。大手のゼネコン業界の現状はひどいものである。

(事務局)

- ・ INFREPの行程管理票の販売場所に兵冷工さんが載っていないので、言っておく。
- ・ 立入権限は県にあるので、随時実施していく。

4 その他

5 閉会